

ICT活用工事（ドローンやICT建機を活用した土工）



■本市の取り組み状況

平成 28 年度

- ・職員研修を開催（3回）
- ・業界との意見交換会を開催
- ・ICT活用工事（土工）を試行
- ・県内の発注者、設計者、施工者によるパネルディスカッション等開催

平成 29 年度

- ・本格導入に向けて制度設計の検討を予定

1 目的

これまで多くの人手と時間、熟練技術者の技能を必要としてきた建設工事は、今後の労働力不足に対応するため、建設現場の生産性を向上させていく必要があります。

ICT活用工事は、測量・設計から、施工、管理に至る全プロセスにおいて、ICT（情報通信技術）を取り入れることで、1人1人の生産性向上、企業経営の改善、賃金水準の向上を図り、魅力ある建設現場を目指していくことを目的に、本市への導入を検討していきます。

2 取り組み内容

◆平成 28 年度

○市の若手技術職員を対象に、国の最新動向である「i-Construction（ICT活用工事など）の取組み」について技術研修を開催（7月5日）

○技術職員を対象に「静岡県のICT活用工事の取組み」について技術研修を開催（7月25日）

○建設業、測量設計業、市の担当者の意見交換会でICT活用工事をテーマにした意見交換会を実施（10月18日）

○本市発注工事でドローンによる3次元測量、3次元設計データ作成、ICT建機による土工を試行（3月現在3次元データ作成段階）

○県内の発注者、設計者、施工者によるICT活用工事の知識向上を目的としたパネルディスカッション及び現場見学会を開催（1月30-31日：掛川市）

○ICT活用の試行工事について市職員を対象に研修会を開催（2月14日）

◆平成 29 年度

本市の発注工事は、国や県に比べ工事規模が非常に小さく、国や県の基準を導入しても対象となる工事が少なくなってしまう。ICT活用工事を推進するには、本市の状況に合わせた制度設計（基準作成）が必要と考えており、平成29年度に検討していく予定です。